



Press Information

VPR16-013

2016年2月15日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン「ラリー・スウェーデン」4 連覇を達成

- セバスチャン オジェが「ラリー・スウェーデン」3 勝目。自身通算 34 勝目を記録。
- 通算戦績は 41 戦中 36 勝。2015 年ポルトガル以来負けなしの 11 連勝。



2016 年世界ラリー選手権(WRC)第 2 戦「ラリー・スウェーデン」が、2 月 11 日(木)～14 日(日)に、ノルウェー国境に近いヴァルムランド地方の「カールスタッド」を中心に開催され、フォルクスワーゲン・モータースポーツのセバスチャン オジェ選手(フランス)がポロ R WRC を首位に導きました。チームメイトのアンドレアス ミケルセン選手(ノルウェー)は、表彰台に迫る 4 位、ヤリマティラトバラ選手(フィンランド)は、サスペンション損傷でリタイアした後、競技二日目から再スタートし完走しました。

フォルクスワーゲンは、2013 年から続くこのラリーの連勝記録を 4 に伸ばしました。ポロ R WRC は、これで全 41 戦中 36 勝。その起点となったのは、2013 年スウェーデンの驚異的なデビューウィンでした。

「ラリー・スウェーデン」は、WRC 唯一のスノーイベントです。昨今の暖冬のために昼間気温が 0℃を上回り、グラベル(非舗装路、砂利道)が露出する区間が多く、一時はラリーの開催が危ぶまれました。主催者は、複数のスペシャルステージ(SS:競技区間)をキャンセル、当初の 22SS から 13SS に減らすとともに、24 時間体制で整備を行い、開催に漕ぎ着けました。これに伴い、SS 距離は 331.21km から 241.48km に短縮されました。

「ラリー・スウェーデン」は、「ラリー・フィンランド」と並ぶ WRC 屈指の高速イベントです。その秘密はスタッド(スパイク)タイヤです。スタッドが雪の下にある硬く凍った路面に刺さってグリップを発揮するため、状況に合わせてスタッドを選択しなければなりません。また、全開走行や雪のない路面の走行を続けるとスタッドが失われるので、クルーによるタイヤ管理も重要な戦術です。

2016 年第 2 戦は、2 月 11 日夕刻、カールスタット馬術競技場のセレモニアルスタートで正式に幕を開けました。デイ 2 の SS 距離は、全体の約 5 割を占める 118.36km。トリッキーな路面状況にもかかわらず、オジェ選手は 26.9 秒の大量リードを稼ぎ出し、優位に立ちました。デイ 3 では、夜間に降った新雪の除雪役となるハンディを負いながらも首位を堅持。ボーナスポイントの対象となるデイ 4 のパワー SS でトップを記録し、ディフェンディング・チャンピオンらしい走りでのこのラリー 3 勝目、通算 34 勝目を獲得しました。

初日のミケルセン選手は、同僚から遅れること 42.0 秒の 6 位ながらも、表彰台が狙える位置につけました。その後は気迫溢れる走りを見せましたが、最終的に 4 位となりました。ラトバラ選手は、初日リタイアとなったものの、ラリー2 ルール(未完走 SS をペナルティタイムに換算、持ちタイムに加算して翌日以降の再走を許可)によってデイ 2 以降も競技を続け、スウェーデンで過去 3 勝をマークした実力を垣間見せました。

ポロ R WRC は、2015 年ポルトガル以来、負けなしの 11 連勝を達成しました。WRC 記録は、フォルクスワーゲンが持つ 12 です。タイ記録がかかる第 3 戦「ラリー・メキシコ」は、3 月 3 日(木)～6 日(日)に、メキシコ第 5 の都市レオンを中心に開催されます。

[終了後のコメント]

■ フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: ヨースト カピート

「チーム全員が一丸となったからこそ、4 連覇を達成することができました。最初から最後まで全開走行を続けると大きなリスクを負い、勝てないこともあります。オジェは見事に勝ち切ってくれました。」

■ カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果: 優勝

「自分自身のキャリアで、これほどまでリスクを冒したことはありませんでした。しかし、結果的にはスウェーデン 3 勝目をマークできて本当に嬉しいです。」

■ カー#2: ヤリマティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果: 26 位

「第 2 の地元イベントで残念な結果になってしまいましたが、メキシコではスタート順の優位を活かしたいですね。」

■ カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果: 4 位

「優勝争いに絡もうと、初日からアタックしました。その過程でミスを犯しすぎてしまったようです。必ずこの経験を将来に繋げます。」

■ FIA 世界ラリー選手権 第 2 戦ラリー・スウェーデン 最終結果

- | | |
|--|------------------|
| 1. セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン) | 1 時間 59 分 47 秒 4 |
| 2. ハイデン パットン/ジョン ケナード(ヒュンダイ) | +29 秒 8 |
| 3. マッズ オストベルグ/オーラ フローネ(フォード) | +55 秒 6 |
| 4. アンドレアス ミケルセン/アンダース イェーガー(フォルクスワーゲン) | +1 分 10 秒 8 |

■ FIA 世界ラリー選手権 マニュファクチャラーズ選手権ランキング(第 2 戦終了時点)

- | | |
|--------------------------|----|
| 1. フォルクスワーゲン・モータースポーツ | 54 |
| 2. ヒュンダイ・モータースポーツ | 49 |
| 3. フォルクスワーゲン・モータースポーツ II | 30 |

■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第 2 戦終了時点)

- | | |
|----------------------------|----|
| 1. セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン) | 56 |
| 2. アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン) | 33 |
| 3. マッズ オストベルグ(フォード) | 27 |